

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 14 日 (19 : 30 ~ 20 : 30)

1 . 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 岡部・立川・水澤・春・市菌・吉田

前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		1	1	4	6
	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		2	2	2	6
	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	3	1	1	6
	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	1	3		6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

初期に得た情報はプチミーティングにて情報共有している。限られた時間でニーズの把握に努め、具体的な方向性を位置づけるよう心掛けている。家族の介護負担軽減も視野に入れている。本人、家族の声を受け止め、少しでも不安を和らげる様寄り添いに努めた。家族・医療機関・ケアマネ等と、随時連携を密にとることを心掛けている。新しい利用者への声掛けは積極的に行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ニーズに対して、全てを完全に受け止めることを目指すと施設の負担が大きくなり、どうしても妥協点が生まれてしまう。急な依頼の対応や、所定の業務に追われて余裕がなく、早期に対応出来ない現状。行き詰ってしまうと、他のサービスに頼らざるを得なくなる。利用開始前ミーティング、サービス提供会議が満足にできていない。看護の面で、必要な方に対して十分な支援計画が立てられない。利用の目的・希望を理解できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

利用開始前カンファレンスを行ない、現状抱えている問題点の把握、サービスの希望と必要量を見極め、適切なケアの設定を行なっていく。ケアマネ・介護・看護の三者でしっかりと協議を重ねていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 14 日 (19:30~20:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 岡部・立川・水澤・春・市蘭・吉田

前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		1	2	3	6
本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2	3	1	6
本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		1	3	2	6
実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?			2	4	6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
業務日誌に詳細を記録し、申し送りで確認する。利用者の送迎時、家族の方に話を聞ける時がある。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
介護計画を全員で確認できていない。日々の業務に追われ、対応し切れていない部分がある。多忙な為、ミーティングもろくに出来ず目標より業務優先になってしまっている事がある。また、本人の目標、家族の希望等が見えず、実現していく支援ができていない。振り返りも出来ていない。認知症に対する理解がまだ薄い。短期利用の方が長期利用になる際も、一方的に家族の要望を受け入れすぎている。その際のミーティングも不足している。自身が、理解しようとできていない (日々の業務に追われて)。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
初期支援にも共通するが、ニーズの把握と同時に本人や家族が目指すもの、それに向けてどのような支援経過が必要かを適宜振り返る場を確立していく。一元的な振り返りでとどまらないよう必要な利用者に関しては時間を多く取る様、サービス提供検討会議を工夫し、充実させていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 14 日 (19 : 30 ~ 20 : 30)

3 . 日常生活の支援

メンバー 岡部・立川・水澤・春・市菌・吉田

前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	2	3	6
本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		6			6
ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		1	2	3	6
本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		5	1		6
共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	2	3		6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

管理者、ケアマネ、看護師ともに介護の適切な指導を行なっている。また、変化に応じて介護の在り方を話し合うよう努めている。本人の残存能力に意識し、できることは維持していくよう支援に努めている。家族・スタッフ等に、生活および行動スタイルを情報収集し、必要に応じて医療機関と相談した上で解決に努めている。体調の変化はその都度共有できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

気づきに遅れ、利用者のニーズに対応できていない面も多々ある。随時新しい情報に更新されず情報共有に時間がかかる。以前の生活を支援していく対応、自分らしく生活していた頃の暮らしを聞いていない。自立支援の難しさに直面している。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ケアプラン更新に伴う情報更新に努める。また、その人の生い立ちや生活暦をもう一度見直し、ケースファイルを一新していく。自立支援に向けた取り組みも、サービス提供会議にて盛り込んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 14 日 (19 : 30 ~ 20 : 30)

4 . 地域での暮らしの支援

メンバー 岡部・立川・水澤・春・市園・吉田

前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3		3	6
	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		2	3	1	6
	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2	2	2	6
	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	1	4	6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人、家族の距離感を大切に、良い関係が保たれるよう努めている。今までの暮らしぶりや地域とのかわりを理解するようコミュニケーションに努めている。担当ケアマネやかかわるスタッフに、把握しておきたい情報は共有に努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源につなげるまでの構築に時間がかかる。自施設の、積極的に関わろうとする努力が不足している。サービス提供会議が十分にできていない。独居の方や長期宿泊の方の暮らしぶりが理解できていない。ほとんど地域にかかわることがない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
地域資源を活用したケアを行なうための、基礎知識の学習、活用方法、協働のあり方を一から見直していく。内部ではサービス提供会議にて、またサービス担当者会議では積極的な地域資源の活用を盛り込んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 14 日 (19 : 30 ~ 20 : 30)

5 . 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 岡部・立川・水澤・春・市園・吉田

前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1	2	3	6
	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	1	2	2	6
	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		1	3	2	6
	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		4	2		6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
確かに、ニーズに応じて通い・宿泊・訪問で対応できている面もあるが、全ての利用者に対応できているわけではない。加えて、受けすぎている面もあり、適切かどうかは議論の余地がある。少しの変化にも対応し、家族様・報告を必要とする場への提供はできている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
全ての利用者に対してニーズを充足出来ている訳ではない。どうしても偏りが出来、希望があってもお受けできない現状がある。日によって変化する利用者の心身の状況は、しっかり掴み取っているとは思えない。地域の資源をうまく使いきれていない。スタッフが少ない中で思うように利用できていない。医療機関を必要とする提案も、生かされていない。地域資源自体が分からない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
小規模サービスの利用より他のサービスが望ましいと思われる場合、必要な協議を経た上で適切な橋渡しを行なっていく。介護・看護の観点からしっかりとカンファレンスを行なう場を確立していく(サービス提供会議の充実化)。地域資源とは何かを一から学んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 14 日 (19 : 30 ~ 20 : 30)

6 . 連携・協働

メンバー 岡部・立川・水澤・春・市園・吉田

前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?			2	4	6
	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	1	3	6
	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1	1	4	6
	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			3	3	6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 地域包括の見守り会議に参加した事がある。近隣の学生が事業所に訪れることがある。トライやるウィークでの受け入れも積極的に行なっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 満足な会議の実施が出来ていない。照会の場合もある。来訪者は、やや限定的になっている(立地条件もあり、気軽には立ち寄れない)。地域への呼びかけや働きかけが十分でない。子どもの数が減り、学校も統合などで無くなり、あまり来園されなくなった。地域のイベント等になかなか参加できていない(人手不足もあり)。参加したことのないスタッフが大半。存在すら知らない。予定の公表もなく、気にすることさえできない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 各関係機関との連携を強化する(地域支援会議への積極的参加等)。地域の少子化の影響を受けているが、今後のつながりを考え、新たな関係構築の為の情報発信を行なっていく(統合された新しい小学校との連携強化)。地域のイベント参加には、ややスタッフが限定的になっている為、一人でも多くのスタッフが地域と関わられるよう調整していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 14 日 (19 : 30 ~ 20 : 30)

7 . 運営

メンバー 岡部・立川・水澤・春・市園・吉田

前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		2	3	1	6
	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	4		6
	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	1	3	6
	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		2	2	2	6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 苦情対応は迅速に対応できるよう心掛けている。小規模としてとどまらず、施設として対応を行ない、早期解決に努めている。看護師へ意見を求められた時、考えの発言・アドバイスはできていると思う。送迎時、利用者や家族からの意見や苦情があれば、ただちに上司に報告を心掛けている。
 クリーン作戦や防災訓練、防犯ネットワーク会議にできるだけ参加を心掛けている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 積極的にはなかなか出来ておらず、地域からの発信に頼ってしまう面もある。事業所のあり方を意見できるほど風通しはよくないと感じる。地域と協働した取り組みができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 業務会議の中で、自由に意見を述べる事が出来る時間を確立していく。施設として、自発的に地域に対してどのような働きかけが出来るか、それを検討する機会を設けていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 14 日 (19:30~20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 岡部・立川・水澤・春・市園・吉田

前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	1	2	2	6
	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	2	2	6
	地域連絡会に参加していますか		2	1	3	6
	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	2	1	2	6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

施設内研修会を定期的を開いており、学習の場を持つよう心掛けている。施設外研修は専用のボードを用意しており、随時張り出し参加を募っている。ヒヤリハット・事故報告書をしっかりと記録し、再発防止に努めている。看護師としてのキャリアを生かし、学んできたことをスタッフに指導している。起きてしまった事故に対しては、再発予防に徹底し取り組んでいる。申し送りでリスクマネジメントは多少できていると思う。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

参加できなかった職員によっては、書面だけの研鑽となってしまう。個別に勉強会を行なう余裕がない。地域連絡会に参加できていない。また、機会が少ない。多忙に流され、気持ちに余裕が無く向上心が持てない時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

必要と思われるスタッフに施設外研修の提示を行ない、参加を積極的に促していく。それに合わせて、自己研鑽意欲・向上心の発展を目指していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 14 日 (19 : 30 ~ 20 : 30)

9 . 人権・プライバシー

メンバー 岡部・立川・水澤・春・市園・吉田

前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
前回の課題について取り組みましたか?		人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
身体拘束をしていない		3	3			6
虐待は行われていない		2	4			6
プライバシーが守られている			6			6
必要な方に成年後見制度を活用している			4	1		5
適正な個人情報の管理ができている			4	1		5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 虐待に対して、線引きの難しい声掛けがあるものの、意識できていると思う。身体的虐待はないが、言葉の虐待はもっと意識していく必要があると思う。
 自分自身がされて嫌なケアはしない様に心掛けている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 虐待、身体拘束に対して明らかなものはないが、声掛け等に対して議論が必要なものはあり、自分が自信を持って予防できているとは断言できない。
 必要と思われる方に成年後見制度が導入できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 虐待防止に向けた取り組みの継続。成年後見制度の必要性を定期的に会議で検討し、協議していく場を確立していく。